

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	浦 大樹	学校名	白山市立朝日小学校
実施学年	6年	教科	音楽
題材名	短調のひびき		

《学びを深めたいポイント》

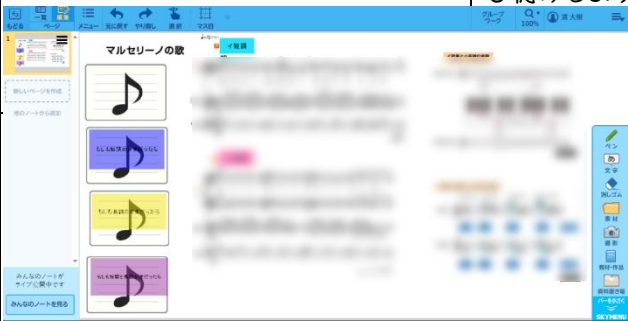
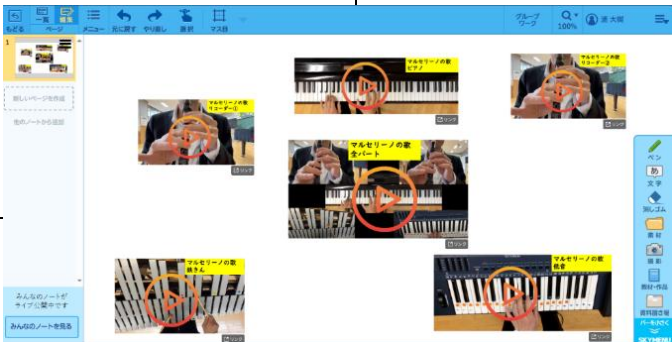
- ・イ短調とハ長調の響きの違いを聴き取り、感じたことを言葉で表現してほしい。
- ・リコーダーを演奏することを通して、イ短調とハ長調の響きの違いを感じ取ってほしい。

《SKYMENU 活用のポイント》

イ短調とハ長調の響きを聴きとらせるために、発表ノートにそれぞれの調の音階と和音の動画をリンクで貼り付けました。また、短調と長調を変えて編曲した音源を発表ノートにのせました。そうすることで、原曲と比較して調の良さや美しさを感じ取れるようにしました。

児童が自分のペースで主体的にリコーダーや楽器の練習ができるように、範奏動画のリンクを貼り付けました。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	「マルセリーノの歌」を聴く。		曲の音源を発表ノートに貼り付けて、展開の時間でいつでも聴けるようにする。
展開	イ短調とハ長調の違いや良さを感じ取り、言葉で表現する。 リコーダーのパートを練習する。	 ・楽曲の音源を再生し、イ長調とハ長調の響きの特徴を感じ取らせる。 ・イ短調とハ長調の音階や和音の資料 URL にある動画を視聴して、イ短調とハ長調の ・長調と短調を変えて編曲した音源を再生し、調が違うとどうなるかを感じ取らせる。 ・リコーダーの運指やドレミが分かる動画を視聴して、リコーダーパートの個人練習をする。	QR コードを読み取らなくてもコンテンツを視聴できるように、リンクを貼り付ける ・画像をリンクに貼り付けることで、どの動画の URL なのかを分かりやすくする。 ・自作の練習動画をクラウドに保存し、リンクを貼り付けることで、ノートの容量が超えないようにする。
まとめ	イ短調とハ長調の違いや良さを感じ取りながら、リコーダーのパートを演奏する。		

《実践を振り返って》

調を聴いてどのように感じるかを教師が教えるのではなく、児童一人ひとりが感じ取るような学びの場を提供できたと思います。長調と短調を変えて編曲した音源は、イ短調とハ長調の同主調に転調させました。転調させた音源と聴き比べることで、原曲の調の良さや美しさを感じ取らせることにつなげたと思います。

↓ 児童が提出した発表ノートノート

マルセリーノの歌

もしも短調のままであったら

もしも長調のままであったら

もしも短調と長調の両方があったら

イ短調

イ短調とハ長調の音階

悲しい・暗い
さびしい・不思議な
せつない・なめらか
ささやくような
おそろしい

ハ長調の音階

明るい・ほのぼの
のびのびとした
ささやくような
機嫌な・落ち着いた
さわやかな・げんきな
歌うような・しんみり

マルセリーノの歌

イ短調

イ短調とハ長調の音階

イ短調の音階

ハ長調の音階

イ短調とハ長調の音階

イ短調

ハ長調

イ短調は高い音が出てても
少し暗く感じる

ハ長調はイ短調と違って
高い音がたくさんあって明るい感じ